

保護者等からの放課後等デイサービス評価の結果及び分析（公表）

事業所名：社会福祉法人 三笠市社会福祉事業団 みかさ子ども発達支援センター「かざぐるま」

○ 公表：令和4年2月28日

○ 保護者数 10名（利用児童数14名：兄弟姉妹を含む） 回収率100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1		・通所する児童が多くなってきた為、少し手狭。	・開所当初に比べ利用児童が増えていますが、定員を超えることはありません。また、ご存知のように当事業所の施設は管内においても広いスペースを有しており、一人当たりの占有面積率も高い方です。なお、コロナによる三密を懸念されることもあるかもしれませんが、手洗い、うがい、検温、アルコール消毒の徹底、最新の空気清浄機を設置するなどして感染予防に努めております。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1		・通所する児童が多くなってきた為。	・上記にも記載した通り、1日の利用定員10名を遵守しています。定員10名における国の職員配置基準は3名以上（児童発達支援管理責任者1名、児童指導員・保育士2名以上）になっています。「かざぐるま」は基準より多い5名配置で運営しております。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10				・スロープの設置、及び施設内は各部屋やトイレなどを段差がないように配慮しています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(注i)が作成されているか	8	2		・もう少し個別活動が多い方が良い。	・それぞれの保護者の方にお示したサービス利用計画をもとに、集団活動で培われる人間関係や個別指導で身に付ける技能・能力の育成を想定して計画を立てています。お子様によって個別活動を望まれる場合は対応いたします。
	⑤ 活動プログラム(注ii)が固定化しないよう工夫されているか	8	2			・運動、製作、音楽、学習、知育玩具を使っでの遊び、或いは季節的行事等を取り入れるなどをして、さまざまな活動を行っています。また、図書館や博物館などの公共施設を利用した活動も行っています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	3	・障害のない子どもより本当に障害があっても自分じゃなにも出来ない人との交流が良いと思う。	・コロナ禍ということもあり、児童館などと交流する機会はありませんでしたが、長期休業中には岩見沢の「いわなび」で教育大の先生が主催するバルシューレに参加し、そこに来ている子たちと一緒に活動をしました。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1			・規約時に重要事項説明書をお渡しして説明したり、モニタリングの際にはサービス利用計画を基に支援の在り方について説明したりしています。また、少しでも不安や心配なことがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1	1	・共通の理解ではないところはある。 ・もっと詳しく教えてほしい。「宿題をやって元気に遊んでいた」が決め台詞状態。	・個別支援計画やモニタリングでの面談、連絡ノートや電話・送迎時において詳しくお伝えするようにいたします。また、今年度は子どもの様子がわかるように連絡ノートに写真を載せるなどの工夫をいたしました。なお、「かざぐるま」では子どもを励ますことによって成就感や自信を持たせることを心がけています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9		1	・育児に関しての助言は、子どもが小さい時から実行している事に指摘。お母さんも協力して下さいと言われることが多い。私的には「言われる前から実行しているから」と思っちゃう。	・保護者の方々が子どものために頑張っている姿にいつも感謝しています。「かざぐるま」では子どもをこれからどうしていくかを主眼に面談していますので過去の育児について指摘するようなことはありませんが、あったとすれば疎通がうまくいかなかったものと反省いたします。今後とも保護者と協働しながら子どもを成長させていこうと考えています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2	2		・今年度も父母会は開催しておりません。開催するとすれば学校と同様の平日になりますが、仕事のあるご家庭が多く、忙しいため開催しても参加できないとの声を聞きます。要望があれば開催したいと考えますので、ぜひご意見をお寄せください。

保護者への説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		・迅速ではない、対応はしてくる。	・苦情に限らず、なにか疑問などところがあればお聞かせください。なお直接「かざぐるま」に対して言いつらいことがあれば、重要事項説明書でご説明した通り、「苦情受付窓口」があります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	3		・家庭の事情で情報がうまく伝達できない時がある。	・ご家庭の事情は様々あると思います。できるだけ気軽にお話しができる環境や雰囲気づくりに努めていきたいと考えています。また、うまく情報が伝えられない場合は、連絡ノートを活用いただいたり、記載しづらい情報のときは、いつでもご連絡ください。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2			・毎月『つうしん』を発行し、活動の様子や内容をお伝えしております。今後も情報の発信に努めて参ります。また自己評価の結果につきましては、各家庭に文書で配付するとともに事業団のホームページでも公表し、オープンな情報開示に努めています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	8	2		・面談時、事務室へ通してくれる時があるが、書類などが目に入ってくるので、個人情報を見たわけではないが、人を通すならいつかは情報が漏れる恐れがある。	・個人情報には厳格に管理、保管しており、事務室内においても人目に触れることはありません。当然のことながら電子データも持ち出しは厳禁になっています。ただ、事務室での面談が気になる方もいらっしゃるようなので、次年度は別室で面談を行いたいと考えます。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	3	1		・契約時に事故が発生した時の対応や損害補償、避難訓練の実施について説明していますが、「かざぐるま」が策定している「非常災害時マニュアル」、「感染症予防マニュアル」、「虐待防止マニュアル」等については説明しておりませんでした。今後、周知して参りたいと考えます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4			・災害時等における避難訓練を年2回実施しています。三笠消防署の指導を受けながら実施した避難訓練は「10月号つうしん」にも記載し、お知らせした通りです。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10				・これから子どもたちが楽しみに通所できるよう努めて参ります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8	1	1	・月、火、水の利用不可と伺い、そういう時対応の別通所先を探し中。	・ご意見は送迎についての件だと思いますが、ご希望になかなか対応できず申し訳ありません。現在、月、火、水に固定して利用している児童生徒が三笠市（小学校2校、中学校1校）、岩見沢市（小学校2校）にいます。これらの利用児童は下校時間もほぼ同時刻（2時から3時台）のため、「かざぐるま」が所有する車の他にもう1台車を借り上げ、2台で対応しているところです。これがさらに他の方面への送迎となると厳しい状況にあり、ご理解ください。
集計			142	28	9		保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。皆様から寄せられた評価の趣旨を職員で十分把握し、支援や活動に生かしてまいりたいと思います。また、評価に関係なく、ご意見が伝えられない場合も考えられますので、そのときはいつでもご相談ください。子どものよりよい成長のためには、かざぐるま、保護者、学校、関係機関等が連携・協力していくことが重要だと思っておりますので、今後ともよろしく願いたします。
			79%	16%	5%		